

災害時要援護者(難病患者)支援シンポジウム

協働の相手(名称)	特定非営利活動法人佐賀県難病支援ネットワーク		
事業年度	平成20年度		
県の担当部署	健康福祉本部健康増進課 疾病対策担当 (0952)25-7075		
県の予算額	0円 (提案者が地域振興基金約40万円の助成金を確保)	協働の形態	共催

目指す姿

難病患者が災害に対し「自助」「共助」「公助」で備える。

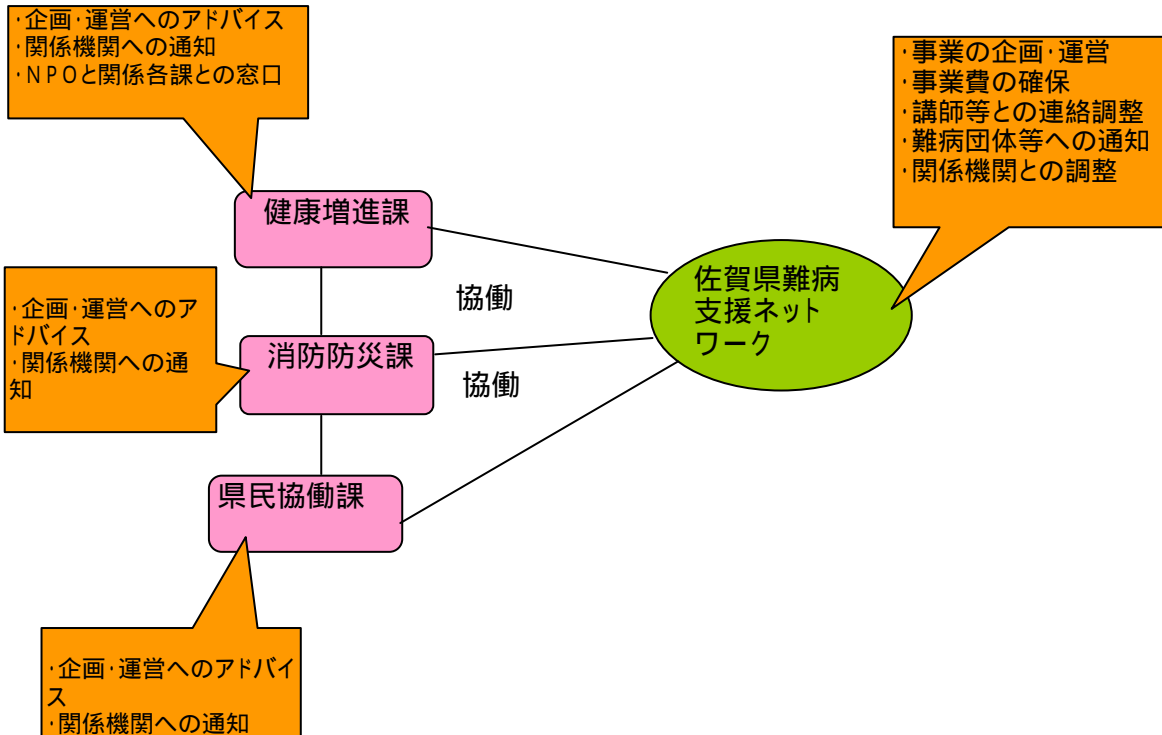
事業概要

- ・災害時の要援護者に対して行政、地域住民等は何ができるのか、また、当事者自身はどのような備えが必要なのかについて、それぞれの立場の関係者が意見交換を行うシンポジウムを開催する。
- ・平成19年度の協働事業で作成した「大規模災害時における難病患者の行動・支援マニュアル」を活用する等して、災害時要援護者の対策について啓発を行う。

協働の背景

平成20年度の「協働化テスト」に提案があった。これについて関係各課で検討した結果、県としても難病の理解や要援護者の災害に備えた事前準備の重要性の啓発は必要であると考えており、当事者の立場でもある提案者と事業を実施することで、より当事者の立場に立った支援につなげることができると判断し、「共催」で実施することとした。

協働の内容





協働の成果

- ・それぞれの立場から広報活動を行った結果、様々な立場の方の参加があった。
- ・当事者、ボランティア、行政等がそれぞれの立場から企画・広報・運営などに関することで、内容に幅を持たせることができた。
- ・民間団体が利用できる助成金を活用した事業を実施することで県費の節減につながった。

県民のメリット

- ・難病患者等の災害時要援護者の安心につながる。

今後の展望

- ・災害時要援護者対策について、関係機関との連携を密にして、具体的な対策につなげていく。